

SK-BLOOD!

日本医療安全学会学術総会 in 東大

SHONAN KAMAKURA
GENERAL HOSPITAL

<https://www.sk-blood.com>
撮影 田中江里

2017 April 4



日本医療安全学会第3回学術総会が東京大学の本郷キャンパスで開催された。当院の医療安全管理室の代表として勤めてきたこの5年間、医師のインシデントレポート(問題があったときに報告するもの)の件数増加にどのように取り組んできたかを発表した。医師のインシデントレポート(ニアミスや医療事故)は重大なものを含むことが多く、病院で早期に対応しなくてはならないことも多いが、このようなレポートを書きたがらないのも医師である。これを増加させることで見えないアクシデント、問題点を早期に見つけることを目標として取り組んできた。

私がこの業務について2011,2012年頃は医師のレポート提出率は全体の1.5%前後であった(看護師さんや他の職種の人が多く書いていた)。しかし、その後医師への啓蒙活動や診療部長会議・医局会で報告を行い、外科系の医師達にはレポートを書く基準を自分達で決めてもらったりした。死亡事例、ICU症例などをこちらからレビューすることで重篤な合併症を早期に見つけたり・・・。

そんな活動をしてきて最近では医師のレポート提出率は7~8%に増えており、この活動を来年はもう少し内科系に広めていこうと考えている。合併症なのかインシデントなのかを判断することはしばしば難しいことがあるが、背景に問題が隠れていることがある。報告して小さいうちに危機対応を考える文化、それを醸成することが大切である。

それにしても歴史ある東京大学の教室に入れて壇上に立てて、ちょっと良い気持ちでした。

<2017.3.18 江里ブログより>